

# ams コンビアラーム【CO(一酸化炭素)追加センサー】取扱い説明書

この度はコンビアラーム用【CO(一酸化炭素)追加センサー】をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。お取付けの前にこの説明書をよく読みよくご理解のうえ正しくお使い下さい。間違った取付けや使用による故障・破損・事故は保障の対象外となります。



## ■【本機の機能】

- 別売【コンビアラーム】に接続する【CO・一酸化炭素用追加センサー】です。※「煙」や「可燃性ガス」用のセンサーとしては使えません。
- 【コンビアラーム】には2つまでの追加センサーを付けることが出来ません。

## ■【仕様】

使用電圧	DC12V(コンビアラームに接続)
アラーム反応感度(CO・一酸化炭素)	約200ppm
消費電流	待機時:約130mA
動作温度	-10℃～+40℃
動作湿度	Max 95%まで
サイズ	50 X 50 X 24mm

## ■【一酸化炭素 CO】

- COは燃料が燃えるときに発生する無色無臭の有毒ガスです。
- 燃焼機器に欠陥や整備不良があったり、部屋の換気経路が塞がれていたり不十分な場合、十分な注意が必要です。

## ■【一酸化炭素 COの人体への影響】

疲労感、頭痛、めまい、吐き気、胸や腹部の痛みといった症状が出て、高濃度のCOの場合は、わずか数分で死に至ることがあります。(本機の反応濃度:約200ppm)

### [空気中濃度と症状]

- 35pp : 8時間以内なら許容できる濃度
- 200ppm : 2~3時間後に軽い頭痛、疲労感、めまい、吐き気
- 400ppm : 1~2時間後に前頭部の痛み。3時間後に死の危険
- 800ppm : 45分以内にめまい、吐き気、けいれん。2時間後に意識を失う恐れ。2~3時間後に死の危険
- 1600ppm : 20分以内に頭痛、めまい、吐き気。1時間以内に死の危険。
- 6400ppm : 1~2分以内に頭痛、めまい、吐き気。10~15分以内に死の危険。

## ■【COセンサーの取付け場所】※重要

COセンサーは壁付け用に設計されています。

- [燃焼器具の近くの場合]
  - ・天井から15センチ下の壁面
  - ・ドアや窓より高い場所
  - ・燃焼器具から水平距離で1~3mの範囲
  - ・天井に傾斜がある場合、高い方の壁面
- [燃焼器具から遠い場合]
  - ・床から1.5mの壁面

## ■【取付けに不向きな場所】

- 屋外●家具の中、カーテンの後ろ等●ドアや窓、エアコン、換気扇等の近く●コンロや煙の近く●浴室等湿気の多い場所●排水口の上や下●ホコリが多くセンサーに影響のある場所●爆発の危険のある場所

## ■【配線】

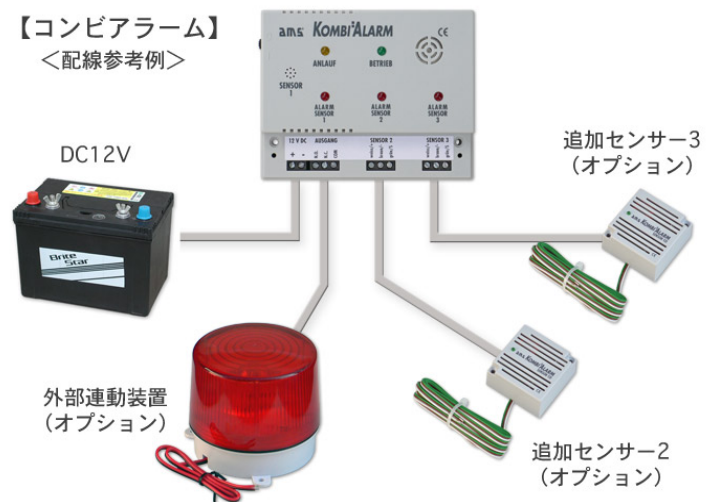
- 取付けが終わるまで電圧をかけないで下さい。
- COセンサーには3本(3m)のケーブルが付いています。【コンビアラーム】の「センサー2」か「センサー3」の端子に接続します。
- 最大5mまで延長可能ですが、0.25平方ミリ以上の太さのケーブルをお使い下さい。

## ■【作動】

- COセンサーにはスイッチはなく、【コンビアラーム】からの電源で作動します。【コンビアラーム】のスイッチを入れて下さい。
- スイッチが入るとグリーンLEDが点灯します。

## 【コンビアラーム】

<配線参考例>



## ■【警報チェック】※4週間に1度は行って下さい。

- ガスライターを用意し、火を着けずにガスだけを出し、COセンサーに近づけます。(タバコの煙やアルコールを含んだ息を吹きかけてもテストできます)
- 数秒で【コンビアラーム】から警報音が鳴り、赤いLEDが点灯します。
- ガスが無くなれば警報はやみ、元のスタンバイ状態に戻ります。

## ■【アラームがなったら】

- ・すぐ窓やドアを開ける。
- ・ガス器具を止め、電気器具のスイッチにさわらない。
- ・人をその場所から遠ざける。
- ・すぐにアラームの原因を探り、ガス漏れの場合専門業者に頼む。

## ■【間違ったアラーム】

スプレー、タバコ煙、アルコールに反応することがあります。

## ■【センサーの寿命】

- 一般の使用環境で、センサーは約7年間お使い頂けます。
- ※7年経過したものは交換して下さい。
- ※シリコンを含んだスプレーや接着剤、湿気や結露、塩、硫化水素、塩素、二酸化硫黄、塩化水素等のある環境ではセンサーにダメージを与え寿命が短くなる可能性があります。

## ■【保守】

- センサーのスリットにほこりがたまらないようにして下さい。
- ※水のスプレーを直接かけないで下さい。
- ※定期的に作動テストを行って下さい。(4週間に1度)